

キラキラしまね笑顔で読み聞かせ

親子読書ってなに?

「親子読書」とは、絵本の読み聞かせによつて親の言葉で子どもを包み、親子で絵本の楽しみをとにもすることです。乳幼児期からの読み聞かせを通して、子どもが人のぬくもりや心のふれあいを体感し、豊かな人格を形成していくためには、家庭での読み聞かせはとても大切です。

鳥根県立図書館では、昭和54年度から読書普及指導員を配置し、親子読書の普及を図っています。また、赤ちゃんから小学生まで発達段階に応じた推薦図書リスト「おすすめしたいこどものほん」を毎年作成し、読書活動を支援しています。

読み聞かせを広げよう

平成24年度には、0歳から6歳までの子どもへの読み聞かせに適した絵本300冊を収録したパンフレット「しまね子育て絵本」を作成し、幼稚園・保育所等に配布しました。また、これらの絵本を家に持ち帰って利用できるよう、「しまね子育て絵本」約1000冊を各市町村へ寄託し、図書館等の拠点施設を通じて幼稚園、保育所、公民館、児童館等で巡回利用ができる仕組みを作りました。

さらに、各地域における親子読書の広がりを目指し、親子読書アドバイザーを養成して保護者が集まる研修会等に派遣しています。

読み聞かせの写真を募集します

今年度、鳥根県立図書館では、ふるさと鳥根寄付金の一部を活用し「キラキラしまね笑顔で読み聞かせフォトコンテスト」を行います。

県民の皆様から子どもへの読み聞かせの写真を募集し、応募された作品を使ってポスターやチラシを作製・公開することで、読み聞かせの素晴らしさを分かりやすく伝え、子どもの読書活動を推進する目的で実施します。

募集期間

平成27年6月1日(月)～10月31日(土)

応募部門

- ① 一般部門
読み聞かせをしてもらっている子どもが被写体となる作品、または子どもとその周りの大人が被写体となる作品
- ② 読み聞かせ部
お父さん、おじいさんといった男性と読み聞かせをしてもらっている子どもが被写体となっている作品

各部門とも、家庭に限らず、学校や図書館等におけるボランティアや学生による読み聞かせも含まれます。

応募方法
インターネットの応募フォームから、必要事項を記入の上、画像を貼付して申し込んでください。



鳥根県立図書館イメージキャラクター ぶつくまくんとしおりちゃん

発見・感動

おいでよ！体験の宝庫に！

ドキドキすることやめられない、ワクワクすることやめられない、そんな夏休みがここにある！大自然の中での体験を通じて、様々なことを発見し、そして感動を提供する青少年施設をご紹介します。

◆県立青少年の家(サン・レイク)

出雲市にある青少年の家(サン・レイク)は、宍道湖北西岸の小高い丘の上に位置し、様々な年齢層の方々に気軽に利用していただける施設です。

【湖面活動(仲間と宍道湖に漕ぎだそう)】サバニ(10人乗りの大型カヌー)研修、カッター研修、カヌー研修ができます。

【野外活動(外で元気に活動しよう)】火起こしや登山など、自然の中で様々な体験ができます。

【その他(ワクワクする体験がいっぱい)】ガラス工芸などの創作活動、そば打ちなどの調理体験、仲間づくり活動など、たくさんプログラムを用意しています。

【今後の主催事業】
小学2年～4年生が、いかだ作りなど様々な体験活動を行う「キングチャレンジ」、小学5・6年生と中学生が、海を舞台に長期キャンプに挑戦する「サマーチャレンジ」、たくさんの方々の体験ブースや食事ブースで「日菜しめる」「サン・レイクフェスティバル」、ほかに「にじ」「ファミリー冬」や「にんにんチャレンジ」を予定しています。

イベントに関する情報は、サン・レイクのホームページ(<http://www.pref.shimane.lg.jp/seishonenic/>)をご覧ください。

【お問い合わせ先】
☎0853・69・1316まで

◆県立少年自然の家

江津市にある少年自然の家は、豊かな自然の中で、幼児から高齢者に至る幅広い年齢層の方々に気軽に利用していただける施設です。

【どんぐりの谷開放デー】
毎月1回、低年齢層の子どもたちにも自然の中での遊びを通して体力づくりの機会と場を提供しています。

【長期宿泊体験受け入れ】
小学校が実施する3泊4日の長期宿泊体験の受け入れとプログラムの立案を支援しています。

【自然から学ぶ各主催事業】
今年も魅力ある主催事業を夏休みから秋にかけて提供します。

5泊6日の「ジュニアサマーキャンプ」、年長園児と2年生児童対象の「かわい子には旅をさせよう」、アクアスとの共催事業「森と海のついで」、2泊3日の「ジュニアウインターキャンプ」など、魅力ある事業が満載です。

イベントに関する情報は、少年自然の家のホームページ(<http://www.pref.shimane.lg.jp/shonenjizen/>)をご覧ください。

【お問い合わせ先】
☎0853・52・0716まで



▲湖面活動



▲どんぐりの谷開放デー

大切にしたいしまねのふるまひ

見てまねて 感じて育つ 鳥根のふるまひ

県では平成22年度より、「ふるまひはしまねの宝」をスローガンに、礼儀、作法、あいさつ、思いやりなどの「ふるまひ」の定着をめざしています。

現在、学校・家庭・地域が連携した挨拶運動やボランティア活動、学級・学校としての「ふるまひ目標」の設定、PTAによる生活習慣の改善をめざす取組など、学校や地域の実態に応じた活動が展開されています。



子どもとその保護者、さらにすべての年代の「ふるまひ」の定着をめざす事業のひとつに「ふるまひ推進指導員派遣事業」があります。

保育士や幼稚園教諭など幼児教育専門家や小中学校教職経験者、グループワークの指導者などを「しまねふるまひ推進指導員」として登録し、幼稚園・学校単位(クラス・学年単位も可)の親子活動やPTA研修、教職員研修などに派遣しています。

【派遣業務の内容】

ご要望に応じてふるまひ推進指導員が出勤していき、研修会を実施します。



- ＜保育所 保育公開日での研修＞
講話「乳幼児期に大切なこと」
- ＜幼稚園 PTA研修＞
講話「親子のふれあいとメディア接触」
- ＜小学校 学級活動＞
参加型学習
「より良い」コミュニケーションとは」
- ＜中学校 宿泊体験＞
講話「日常生活で心がけること」
- ＜県立学校 職員研修＞
参加型学習
「人間関係を体験的に学ぶワーク」

平成26年度は、保育所から県立学校、そして公民館や企業を含めて県内67箇所で開催を実施し、約2300人の方に参加していただきました。

- ◎ 幼児期に育みたい基本的な生活習慣・人間関係などについての講話
- ◎ 子育て支援に関わる参加型学習
 - ・子育てにおいて大切なこと
 - ・親子で考えるルールやマナー
- ◎ 学級づくりや人間関係を体験的に学ぶワーク
- ◎ メディアとの関わり方についての講話 など

【参加者の感想】

「ふるまひ」をキーワードに、いろいろな人の子育て論を共有できました。悩んでいるのは自分だけではないということも気づき、お互いに声をかけ合いながら楽しく子育てをしていきたいと思えます。

乳幼児期には、心の育成が一番大事だと改めて気づきました。心の財産という言葉のとおり、日頃の接し方を大切にしていきたいです。

「子どもの様子が見える時は、生活リズムを見直す」というお話が印象に残りました。

「子どもは親の姿を見て育つ」ということを聞きますが「ふるまひ」もそのひとつだと思います。

「ふるまひ」について改めて考える良い機会となりました。親が「どうふるまう」かを考えて、親子で生活習慣を見直していきたいです。

研修を通して「ふるまひ」定着の必要性を実感し、日々の生活を振り返るきっかけとなっています。



派遣費用など、経費はすべて無料です。保育所、幼稚園、学校、公民館や地域の研修会等で、ぜひ活用してください。

【お問い合わせ先】

県教育委員会教育指導課
心の教育推進グループ
☎0852・22・6165まで



地方創生が目される中、身近な地域やふるさとへの愛着や誇りをもち、他者と協働しながら新しい価値の創造に挑み、未来を切り拓いていく力を身に付けた人材が求められています。

そこで、県では高校生の創造力、コミュニケーション力の育成を目的として、「食の緑結び甲子園(中国四国大会)」を開催することとしました。緑結びの地・しまねで、各地域の地元食材と鳥根の食材を組み合わせた料理コンテストを実施し、また、鳥根の魅力を発信するために高校生同士の交流を図る体験の部も実施します。県民の皆様も、ぜひご声援ください。

- ＜大会概要＞
- 日時 平成27年10月24日(土) 10時15分～14時50分
- 会場 くまびきマッセ 大展示場
- 料理のテーマ
「お米を使った緑結びランチ」
- 大会の構成
調理の部
鳥根の食材と出場チームのPRしたい地元食材を組み合わせた料理
プレゼンテーションの部
料理に込めた緑結びの思いやレシピのプレゼンテーション
- 応募対象
中国四国地区の全日制定時制の高等学校及び特別支援学校高等部の生徒
- その他
詳細は、教育委員会ウェブサイト参照

出雲養護学校 雲南分教室開校

平成27年4月、県立出雲養護学校雲南分教室が雲南市三万屋町に開校しました。知的障がいのある生徒を対象とした高等部で、1学年1学級(定員8名)となっています。

4月7日に行われた入学式では、7名が入学し、今年度は2年生3名を合わせた10名が学んでいます。

また、5月29日には約50名の来賓の方々をお迎えし、校舎定礎式・竣工式を行いました。

この分教室は、生徒一人ひとりの自立に向けた学習の場であるとともに、雲南圏域における特別支援教育のセンター的機能を担っています。

今後、保護者や教員への情報提供を通じてみなさまのご理解とご協力を得ながら、学校の特徴を活かした取り組みを行います。



- 知って得する「早寝早起き朝ごはん」知識クイズの答え
- Q1 (×) Q2 (×) Q3 (○) Q4 (×)
 - Q5 (×) Q6 (×) Q7 (○) Q8 (○)
 - Q9 (×) Q10 (○)